

半世紀で培った精密加工技術に定評 若い職人への技能伝承に積極的に取り組む

旋盤、マシニングで金属を1ミクロン(0.001mm)単位の寸法精度で加工する、県内有数の複合精密切削加工会社。半世紀の歴史で築いた技術・技能を活かし、半導体・航空宇宙・医療・バイオテクノロジー・エネルギー分野とさまざまな業界の切削加工、研究開発に着手している。現場から日々生まれる加工アイデアやノウハウをデータ化、暗黙知の形式知化に取り組む。人が資本、人が財産という理念のもと、若い職人(平均年齢34歳)に対して、スキル引継ぎを短期間で実施すべく現場が総力を挙げて取り組んでいる。

所在地 山口県下関市菊川町田部186-2

設立 1975年

電話/FAX 083-288-2208/083-247-4780

資本金 7,500万円

URL <http://www.hibikiseiki.com/index.html>

従業員数 106人

代表者 代表取締役 松山 英治



難加工材の薄肉精密切削加工技術

ミクロンレベルの幾何公差が求められる半導体製造装置で用いる真空チャンバーや、特殊材料への薄肉精密加工が求められる航空宇宙関連の部品等、技術的に高い要求に答えている。日本国内の半導体製造装置メーカーや航空宇宙関連メーカーや研究開発機関など、コア技術である独自製造の専用加工治具を用い、高水準の加工要求を持つ顧客を全国から集めている。旋盤加工で薄く高精度に仕上げた後に、高精度を維持したままマシニング加工を行うような薄肉複合精密切削加工、インコネル718のブレードカット等の耐熱合金加工も対応。



精密加工を可能にする設備

スマートファクトリーの実現に向けたローカル5Gの活用

製造現場プロセスの業務効率化や技能伝承を目的に新工場を建設し、スマートファクトリーの実現へに向けた実証を開始した。工作機械をネットワークにつないでデータを収集し、稼働状況を可視化する“ひびきIoT”に取り組む。ローカル5Gを活用したネットワーク経由でデータを収集できるIoT対応の工作機械とAI/アナリティクス技術を組み合わせることで、ロスが少なく、無人でも機械を稼働させ、付加価値の高い業務だけに経営資源(人)を投入する体制の構築をめざしている。



新工場の内観

人が資本、財産だという信念の人財育成

社員のインセンティブ・モチベーション向上のため、最新鋭の工作機械を積極的に導入している。正社員採用にこだわり、積極的に地域の学生を採用し職人を育てている。人材の定着に向け、職場環境への改善にいち早く取り組み、当時(1993年)では珍しい冷暖房完備の工場を建設。さらに若手間での技能伝承や切磋琢磨させる仕組みを作る等、若者のやりがいと能力を引き出し、それを伝承していく好サイクルを生み出している。デジタル化を活用した技術伝承を積極的に取り入れている。



若手が活躍する職場